

■ 教育や練習のために擬似的な MCA を使うには？

FAQ No. : FAQ2001-008	DOC Rev. : 1.1	公開日 : 2008/06/05
対象 Version	スペクトルナビゲータまたはガンマスタジオすべてのバージョン	
対象 MCA	MCA 全般	
キーワード	ローカルモード、リモートモード、ダミーモード	

【ご注意】

- ・この文書は、お客様の所有される環境で発生する可能性のある事象に対する一般的な対応策を記述しております。
- ・特定の環境では対応策が適当ではない場合も予想されます。
- ・対応策に関して弊社が保証あるいはサポートを付加するものではありません。

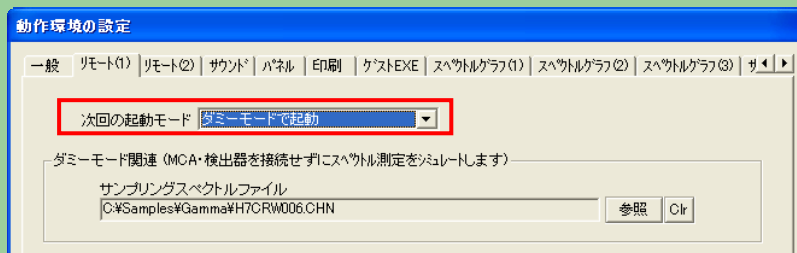
概要

プログラムデモや教育のため、擬似的 MCA でスペクトルナビゲータまたはガンマスタジオを起動するには、どうすればよいか？

対策

スペクトルナビゲータまたはガンマスタジオを「ダミーモード」で起動します。

- (1) 「ファイル/プロパティ メニュー」を選択します。
- (2) 「動作環境の設定 ダイアログボックス」のリモート(1)タブで、次回の起動モードを「ダミーモードで起動」に指定します。



- (3) プログラムのメッセージに従い、再起動します。

《参考》スペクトルナビゲータまたはガンマスタジオには、3種類のオペレーションモードが存在します。

【リモートモード】

実際に MCA との通信が行える動作モードです。
プログラム起動時に制御 MCA との通信確認が行われますので、MCA との通信が行える状態にしておく必要があります。

【ダミーモード】

プログラムデモまたは教育用に MCA を接続しない状態で実行できる動作モードです。
プログラム内部で擬似的に MCA 制御が行え、擬似的なスペクトルが成長します。

【ローカルモード】

MCA の制御はまったく行わず、ファイルに保存されたスペクトルのみを扱う動作モードです。
居室において、保存されたスペクトルの確認や分析を行う場合に使用します。

※ ダミーモードで得られるスペクトルについては、当社では一切サポートいたしません。